

# すべての子どもにも本の楽しさを

## 子どもの読書アンケート結果報告

教育委員会では、平成十八年に策定した「大山町子どもの読書活動推進計画」を受けて、家庭・地域、教育機関、行政が連携して子どもの読書活動を支援していくため、毎年「大山町子どもの読書活動推進委員会」を開いています。

今年度は、家庭における子どもの読書の実態を把握することで、読書習慣の定着につながる手立てが見えてくるのではないかと考えから、アンケート調査を行い、集計結果から見えてきたものを考察しました。

### 読書は好きだけれど・・・

「あなたは、本を読むことが好きですか？」という質問（表1）に「好き」「どちらかかといえは好き」と回答した中学生は83・1%、小学生は90・2%で、全体として大山町の子どもたちは読書が好きだと言えます。

一方「この一か月間に本を読みましたか？」という質問に対して「読まなかった」と回答した中学生は25・5%、小学生は9.5%でした。さらに、読まなかった子ども

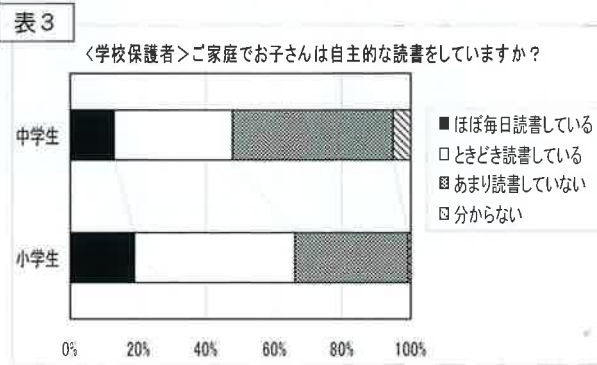
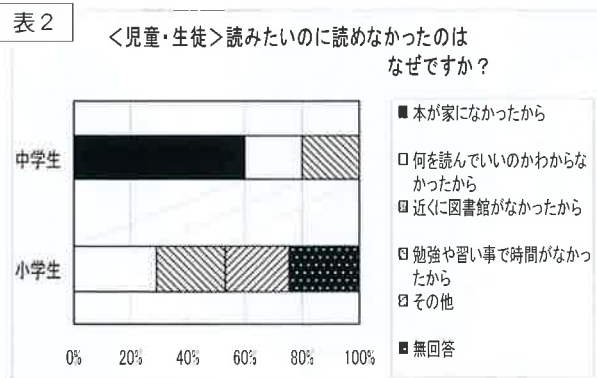
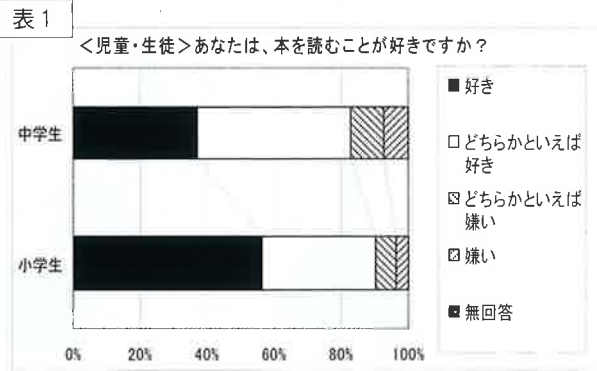
に着目し「読みたいのに読めなかった」と回答している子どもたちに、その理由を尋ねたところ（表2）中学生では「本が家になかったから」「小学生では「何を読んでいいのかわからなかったから」「近くに図書館がなかったから」という回答が多くあり

また、学校保護者に対する「ご家庭でお子さんが自主的な読書をしていますか？」という質問（表3）では「あまり読書をしていない」という回答が多く、学年が上がるほど家庭で本を読んだら、読まなかった子どもに読めなかった理由を尋ねたところ（表2）中学生では「本が家になかったから」「何を読んでいいのかわからなかったから」「近くに図書館がなかったから」という回答が多くあり

☆実施時期  
平成21年9月

☆対象者  
①3歳・5歳児の保護者  
②小学校2年・4年・6年生の児童と保護者  
③中学校2年生の生徒と保護者

☆アンケート調査の回収率  
〔保育所保護者〕 81・3%  
〔児童・生徒〕 99・2%  
〔学校保護者〕 80・6%



▶本がいっぱいうれしいな(図書館で)